

2009. 11. 10.

東京成徳短期大学 言語文化コミュニケーション科

観光・英語・日本文化

2009年度

言コミ通信

No. 6

TOKYO SEITOKU COLLEGE

東京成徳短大の言コミは、あなたの未来を広げます。



言コミは、充実した2年間で約束します！



言コミ・近況報告

■オーストラリア留学情報！

10月9日夕刻にシドニーに向けて成田空港を出発し、早くも1ヶ月が経過しました。現在、各ホストファミリーとの生活を楽しみながら、毎日の授業で悪戦苦闘しつつ、スキルアップを果たしています。(※Web版言コミ通信2009. 10. 15参照)

■桐友祭(学園祭)

10月24-25日に開催し、言コミ関連では、2年生の必修授業の成果発表、オーストラリア留学・オレゴンホームステイの展示を行いました。また、言コミの学習と関連したクラブ・

サークルからは、「書道展」「源氏物語を歩く」「伊豆下田写真展」や、American Cz Clubはアメリカンスイーツの販売などを行いました。

■2年生・就職内定情報

本年度は、かなり厳しい状況が続いており、苦戦している学生もいる中、内定を決めた学生もどんでん返しています。主な就職内定先は、花王カスタマーマーケティング、ビクカメラ、スズキ自動車販売、成仁病院、PL東京健康管理センターなどです。まだまだ、就職活動は終わりませんが、今後の活躍も期待したいと思います。



これからの入試情報 & 第6回オープンキャンパス 情報



AO入試4期

- ◇エントリー：11月24日(火)～12月11日(金)
- ◆選考日：12月19日(土)
- ◇内容：当日課題と面談

年内に合格を決めたい人は、どうぞ4期のAO入試をご利用ください。

※詳しくは、「AO入試要項2010」をご覧ください。不明な点・質問は入学課までお問い合わせください。

※AO入試では、合格通知後に出願して頂くことになっていますので、それまでの選考料などは一切かかりません。

2009 Open Campus

第6回オープンキャンパスを11月22日(日)に行います。(説明会開始時間：午前10時)
※学科の詳しい内容や入試のポイントの他、最新の就職状況などをお知らせします。

一般入試情報

- [A日程] 平成22年1月24日(日)
- [B日程] 平成22年2月1日(月)
- [C日程] 平成22年2月13日(土)

※A日程は、新潟・長野・郡山・静岡・甲府の5都市と、八千代および十条台のキャンパスの7会場から選択できます。

東京成徳短期大学 言語文化コミュニケーション科 (観光・英語・日本文化)
Tokyo Seitoku College Department of Culture and Communication

〒114-0033 東京都北区十条台1-7-13 Tel. 03-3908-4566 / Fax. 03-3907-6195

E-mail: genkomi@tsc.ac.jp / Homepage: http://www.tsc.ac.jp

言コミ・お勧め授業！

今回は、大学案内などでは、詳しく紹介していない科目のいくつかを、**観光・英語・日本文化**にわけて紹介します。

< 観光 >



観光には、行政・実務・地域開発や資格・検定試験対策に関わる科目が充実しています。そのひとつに**ホテルビジネス資格対策**があります。「ホテルビジネス実務検定」は、ホテルビジネスにおいて必要とされる実務知識に関する理解度を測定するための検定試験です。この授業では、ベーシックレベル2級の合格を目指しています。ホテルを将来の就職先と考えている人は、必須の授業です！

また、「**話して発信**」するという表現系の科目もあります。**旅の口頭表現**では、元NHKアナウンサーで、現在はNHK放送研修センター・日本語センター講師である**秋山隆先生**が、「話して伝える旅の魅力」をテーマに授業を展開します。「話し方」の基礎と観光についての基礎知識を養うとともに、「話して伝える」実践演習を取り入れながら、旅の魅力の要素について学習します。

このほかに、都内有名ホテルや羽田空港などの施設見学を通して、観光産業の現在を知る**観光実習**といった科目もあります。



< 英語 >



英語の学習では、基礎英語力とともに、場面に応じた実践的な英語表現を身につけることも大切です。**観光英語**では、海外旅行の様々な場面を想定し、日本と外国の文化やマナーの違いなどとともに、実践的な英語表現を学びます。また、旅行業務など、旅行者を迎える側で必要とされる表現なども扱います。

また、**ビジネス英語**という科目では、企業で求められる英語力を身につけるため、様々なビジネスシーンで使われる表現・語彙などについて学習します。

さらに、**時事英語**では新聞、雑誌、テレビ、インターネットなどの報道で使われる英語を素材にして、英語のスキルアップを目指します。さまざまなメディアの記事やニュースなどの読解・聴解のコツを習得するとともに、TOEICなどでも出題される基礎的な語彙、表現などを学びます。

この他に、パソコンソフトやインターネット上の教材を利用して英語の基礎力と運用力の向上をはかる**コンピューター英語演習**といった科目もあります。



< 日本文化 >



日本文化系には、実習・鑑賞を通して学習するという科目があります。たとえば、**実用書道**では、日常使用される文字を見直し、基本書法を学んで、手書きの味わいを活かした実用文書が書けるようになることを目指します。毛筆や硬筆を使って、葉書・封筒・祝儀袋の上書き、さらに、葉書や便箋の文面・履歴書などの書き方を学習します。暑中見舞い状・年賀状については、作品展示も行います。

また、**日本の伝統芸能**では、映画化されている有名な古典作品について、原典をたどっていきます。そして、歌舞伎・浄瑠璃・落語などでは、どのように演じられ語られるか、ビデオによって鑑賞します。今まで知らなかった古典芸能の世界が開けてきます。（今年度は『四谷怪談』とともに怪談として人気のあった『真景累ヶ淵（しんけいかさねがふち）』を取り上げました）

このほかに、実作系科目として、俳句・短歌・小説をつくる**文芸創作A・B・C**があり、日本文学を学ぶ**古典文学・近代文学・現代文学**といった科目もあります。

